

◎ 2025年12月～2026年1月イベントカレンダー

※受付・販売状況は11/20現在の情報です。本紙発行時には受付状況が変更になっている場合があります。

※イベント時、主催者記録用の撮影を行います。武豊町／武豊町民会館のHP、主催者発行物等に写真を使用することができます。予めご了承ください。

2階喫茶ゆめひろば12月の休業日

12/6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、
20(土)、21(日)、26(金)～1/5(月)

ゆめプラサロンコンサート2025 vol.6 小学生以上 音楽 調和の美～木管が奏でる多彩な音色～

12/6(土) 15:00開演

出演: クインテット・アッシュ(木管五重奏) <宮崎由美香(フルート)、最上峰行(オーボエ)、濱崎由紀(クラリネット)、石川晃(ファゴット)、猪俣和也(ホルン)>

日本代表する木管五重奏団が奏でるオーケストラのように多彩な音色。互いへの信頼と確かな技術に裏打ちされた木管ハーモニーの極みをご堪能ください。前売一般2,000円25歳以下1,000円/発売中

アニメーション制作講座 スマホ/タブレットでつくるコマ撮りアニメ

12/7(日) 10:00～16:30 小5以上 アニメ

タブレットで写真を撮って、アプリを使って編集してオリジナルのアニメーション作品をつくっちゃおう！タブレットは貸出します。
参加費200円/キャンセル待ち受付中

ゆめプラ星空観察会 ふたご座流星群と冬の星座

12/13(土) 19:00～20:30 参加無料・申込不要



令和7年度文化振興事業 名作映画鑑賞会 映画 ①「怪盗グルーのミニオン超変身」 ②「お終活再春!人生ラブソディ」

①10:00～11:35 (日本語吹替版)
12/13(土) ②14:00～15:58

午前中はみんな大好きミニオンズ！ミニオンたちを引き連れたグルーが同窓会にむかうと、かつてのライバルだったマキシムと久々に再会。グループたちはマキシムに命を狙われる羽目になってしまう…。ドキドキワクワクな95分。入場無料/整理券配布中
★②午後からのお終活シリーズはWeb、配布ともに終了しました。



◎ 2025年12月～2026年1月申込み・チケット発売・整理券配布 申込みについて:[先]=先着順/[抽]=抽選/[W]=Web

12/13(土)申込【1/31・2/1レゴロボット製作教室☆上級 ※2日連続講座】[抽]※12/21締切／中級修了者

12/17(水)発売【2/18 ゆめプラモーニングコンサート⑥「クラシックに宿る愛～名曲で紡ぐ旋律～】

1/10(土)申込【2/15 天体望遠鏡製作教室】[抽]※1/17締切 ★本教室は開催予定です。11月30日に開催の可否が決定します。

2026年3月3日(火)は皆既月食！自分で作った天体望遠鏡で月を観察してみよう！
製作教室の定員は9名(抽選)。参加費2,100円(予定)。詳しくは年末発行のチラシを見てね

※窓口のお電話による予約は各申込日・発売日の翌日からゆめたろうプラザまで。詳しくはホームページかチラシで…

※★印の参加申込みは代理での申込みは可能ですが、1回につき1人分のお申込みとなります。代理人は
対象年齢以上の方で、申込み開始日に申込み者の列ができる場合、1回につき1人分のお申込みとなります。
(複数人の代理申込みをする場合、1人目の申込み手続きが完了してから2人目の申込みができます。)

こんなイベントがありました！

おたがいを大事にするのが「インクルーシブ」

「支えあう地域社会へ「インクルーシブ」ってなに？」をテーマに文化のまちづくりセミナー第16弾が行われました。パート1は9月27日(土)飯野由里子さんによる「劇場での合理的配慮～現場で活きる視点と実践ポイント」、パート2は11月16日(日)鈴木京子さんによる「障害のある人が参加するための企画づくり」というタイトルで2人の講師にお話しいただきました。

飯野さんは『合理的配慮』というのは、「困ったことがあって、手助けしてほしいことがあれば、それが無理なことでなくて周りの人ができるうことなら、頼んでみよう」ということでした。例えば、クラスで席がえした時に、「目が

悪くて黒板から遠くの席では困るので少し前にしてほしい」という声があつたら、皆さんのクラスはどうしますか？劇場では前もって、車いす席は階段を使わずに進行るところに用意してあります。皆さんのクラスでも、初めから遠くが見づらい人がいることが分かっていたら、その人の席を取つてあるかもしれませんね。それも、いつも同じ席にならないように考えているかもしれません。でも、それはそういう友だちがいると知っているからできることです。やっぱり、友だちと実際に話してみないと分からないことです。

鈴木さんは、「美しいものすごいものを見たり聞いたりしたときは誰かに話したいし、自分が心に思っていることや感じていることを自分なりに表してみたいと誰もが思っている」と話していました。ある時、聴覚障がいの子

が舞台で見たダンスパフォーマンスに感動して、「自分もみんなとダンスをしたい」と言ってきたそうです。そこで、鈴木さんはたくさんの人とどうやったらできるか考えて、ダンサーにお願いしてだれでも参加できるダンスワーク

ショップを開きました。ダンスをしたいと言っていた人は、その後、16年の間一生懸命に練習して、今年の12月に東京の劇場でダンサーとして出演するそうです。クラスみんなで劇をすることになったとき、聴覚障害の友だちがいたらどうやって劇を作りますか？感動と表現はどんな人にも大切で、私たちの心と生活を豊かにしてくれます。

障がいがあっても、誰もがみんな安心して自分らしくいろいろなことに参加できるように、おたがいを大事にします。

＊＊＊来場者アンケートを一部ご紹介いたします＊＊＊

■パート1アンケートより ▶具体的な事例での話でわかりやすかったです。障害者が要求することは、とかくわがままとられやすいが、要求を実現することで社会を豊かにことができる、心に留めておきます。(70代)▶

障害のある人たちがもっと声をあげてもいい、あげやすい社会に早くなることを願うばかりです。日常生活の中でも、声かけを積極的にしたいと思いました。(50代) ■パート2アンケートより ▶会館との関わり方の問題点も感じつつ、逆にできることから行動することで障害の方の可能性の大さを学びました。(30代) ▶環境や人によって障壁があることを改めて知ることができ、今後支援に入る時に意識を高めていきたいと思いました。(20代)

この他 各種イベント報告をご覧いただけます♪ ゆめたろうプラザ ブログ http://www.yumetaro.net/blog/

9/27(土)、11/16(日)文化のまちづくりセミナー

どん ぶんか にち ぶんか

だい だん おこな

<p